

令和6年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和6年5月9日（火） 11:00~12:00

場 所：WEB 会議

(2) 出席者

「令和6年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

1. 令和5年度決算の認定等について
2. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り及び次期総合戦略について
3. 提言書案について

(4) 議事概要

1. 令和5年度決算の認定等について

- ・令和5年度の事業報告を行い、決算について、原案どおり認定。

2. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り及び次期総合戦略について

- ・第2期総合戦略の振り返り及び次期総合戦略について事務局から説明。

3. 提言書案について

(意見)

- ・人口減少を克服するということはとても難しく、当面減り続けていくことを前提として、緩和されていくまでの期間をどう乗り切るかという点を官民連携でやっていくことや、人口が減少した先に地域がどうあってほしいかという点をビジョンとして伝えられるような提言になればよい。
- ・人口減少対策として出生率 2.07 を求めるのはトレンドではなくなってきているのでは。人口が増えることが幸せなのか、短絡的に出生率を追い求めることがよいのかどうかも含めて議論するような場も必要。
- ・これから日本の人口減少、高齢化が進んでいくとまた違った地域のあり方が見えてくると思う。一方で、若い人がどんどん都会に出て行くことは、愛媛県や松山市にとって大きな課題であり、特にこの松山市に若い人が残るよう、例えば多様な働きなどができるようになっていけばよい。

- ・ 幸せに暮らすことが実現することで結果的に人口も増えていくということもあると思う。人口を増やすことと、幸せに暮らすことのどちらを目標として施策を行っていくかという事は重要。特にこれからを支えていく若者に絞って重点的に取り組んでいくことも必要になってくるのでは。
- ・ 人口が減少した後の暮らしについては、世代によって見ているビジョンや不安なポイントは違うと思う。そこに対して様々なステークホルダーや、若者の皆さんが、どんな暮らし方をしていくことがいいと思っているのかを考えながら対策を立てていくことが重要。